

## 藤沢今昔・まちなかアートめぐり2025

Fujisawacity  
machi-naka" art trail  
the time of long ago and now  
2025

## 「稲妻と蛍の違い」は今？

10月25,26,  
11月1,2,3, 8,9, 15,16日

(土,日,祝,9日間)

10:30-16:00

(パンの蔵のみ日月火を除く営業時間内)

### 「稲妻と蛍の違い」は今？

アメリカの作家、マーク・トゥエイン(1835年11月30日～1910年4月21日)の言葉に「正しい言葉とほぼ正しい言葉の違いは、稲妻と蛍の違いと同じである([The difference between the right word and the almost right word is the difference between lightning and a lightning bug.])」というのがあります。これは小説家であり、多くの講演も行なってきた立場から、文章や会話における表現、言葉選びの重要性を示したものであると同時に、19世紀アメリカ社会の事情(南北戦争後の奴隷制の廃止、大陸横断鉄道開通など流通網の拡張と産業振興、等)を背景とした、新旧の価値観や知識の変化も反映しているように感じます。

「正しい言葉」とは明晰で客観性が担保された用語や言説、情報が伝達されることであり、真正であることにおいて、まさに雷のもたらす稲妻のように熱量や光量も莫大なもの、ということなのでしょう。この「正の光の力」と比べて「ほとんど正しい言葉」は、光も熱も曖昧で「真実」を照らし出すには弱く、儂い輝きである、ということなのでしょうか？

しかしこれを今般の世の中に置き換えて考えてみたいのです。強大すぎる光熱は落雷の如く、著しい眩しさ、速度を伴い、時に対象を焼き、傷付け、破壊することもあります。一方、蛍が発するのは、専ら彼の虫たちが生命を繋ぐために発する光であり、その光は熱を持たない冷光(ルシフェリン発光)です。蛍の光のような、仄かな光で見え難い何かを感じ取ろうとすること、淡くとも思づく存在の意味を考えることが必要とされる時と場所があるように感じます。

同様に、世の中を計測する物差の正確さと強度の過信についても想起させられます。一人一人も集団も、それぞれ持つ目盛りで計ることのできないものもあることを忘れずに在りたい。そもそも硬い物差で複雑な凸凹は測りようはない。更にそれを振り回して争ったところで、元々不正確で欠落も有りがちな道具は、そして何より争う当事者同士もますます摩耗、疲弊していくだけでしょう。

居場所や道行を求める間尺はおのれの歩幅と、ところどころ穴の空いた巻尺くらいが基本、と思っているのが良さそうに感じるので。

そういえばここでの稲妻と蛍の比較も当然人間目線です。蛍には稲妻はどう見えるのだろうか？

主催：藤沢今昔まちなかアート実行委員会

共催：公益社団法人藤沢市観光協会、湘南藤沢文化ネットワーク

助成：公益財団法人藤沢市みらい創造財団

後援：藤沢市、藤沢市教育委員会、藤沢商工会議所、神奈川新聞社

協賛：湘南教育文化研究所、株式会社ソフトマシーン、トキ・アートスペース、関次商店パンの蔵 風土、

田島株式会社、株式会社福田屋、HOME FUJISAWA

協力：東海大学小沢朝江研究室、NPO法人藤沢グリーンスタッフの会、Ligeht Brothers

会期：10月25,26,11月1,2,3,8,9,15,16日(土,日,祝,9日間) 10時30分～16時(パンの蔵のみ日月火を除く営業時間内)

お問合せ

E-mail: fsmuse0911@yahoo.co.jp

Tel: 090-1212-4415 (伊東)

<https://f-artkonjaku2025.tumblr.com/>

※状況により予定を変更、中止する場合がございます。最新情報はSNSをご確認ください



参加作家と会場となる歴史的建造物など

- ・旧栢屋：伊東直昭、中西晴世
- ・旧稲元屋：ASADA、佐々木薫、坪井美保
- ・旧鎌田商店：オノ・ヨシヒロ、カトシュ、福家ゆみ子
- ・関次商店パンの蔵 風土：武井隼人

参加作家によるワークショップ、サテライト展示

- ・藤沢市ふじさわ宿交流館ホール：岩下納央子

創作紙芝居とワークショップ 参加費500円

10月26日(日) 午前の部10:30~ 午後の部13:30~ いずれも創作紙芝居20分とワークショップ60分程度

- ・活動資料展示(藤沢市ふじさわ宿交流館にて会期中 月曜日を除く9:00~17:00)

関連事業

解説付き会場めぐりツアー

※ 湘南藤沢文化ネットワーク主催による 下記イベントのオプションツアーとなります。

- ・11月8日(土) 昼食後14:00~16:00 「まちなかアート」にご案内 (希望者のみ)

「第39回 歴史文化めぐり東海道を歩く『俣野~大鐸~藤沢宿』歴史を訪ねて、庭園めぐり」

- ・参加費：2,000円(昼食付)

・お問合せ、申込：e-mailにて 宛先：a.mac@jcom.home.ne.jp

10月20日より受付開始 記載内容：氏名、フリガナ、電話番号、オプションツアーへの参加 有・無

<https://shonan-telen-festival.org/event/987rYoxS> (湘南邸園文化祭参加事業)

酒類問屋  
**田島株式会社**

**HOME FUJISAWA**  
HOME FUJISAWAとは「藤沢宿をもっと面白くしたい!」という思いで集まった、創造的でローカルなチームです。

**風土** パンの蔵 風土 (関次商店)  
営業時間 8:00~15:00 [売り切れ次第閉店]  
定休日 日曜・月曜・火曜  
TEL 090-2147-6314

創業明治二十年 節句人形問屋  
**福田屋人形店**  
藤沢本店 藤沢市本町 1-3-29  
TEL 0466-23-3131  
ホームページ [www.a-fukudaya.co.jp](http://www.a-fukudaya.co.jp)

**TOKI Art Space**  
トキ・アーツスペース  
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前3-42-5 サイオンビル1F  
TEL/FAX 03-3479-0332 <http://tokiart.life.coocan.jp/>  
12:00-19:00 (最終日17:00) 水曜休廊

ソフトマシーン 美術館  
[www.smmdw.co.jp](http://www.smmdw.co.jp)

伊東 直昭 Itoh Naaoki



《ケモノ/タテモノ「蛇頭魚鱗」 KEMONO/TATEMONO "Snakheadstructure" 2025年

「ケモノ/タテモノ」とは、人智・人為とその及ぼすことの混在が常であることを忘れず、大切にしていきたい気持ちを表しています。

ASADA



《裸でおよぶ訳 Reasons to swim naked 2024年

この展覧会は毎年秋開催→その為にだいたい真夏に作品について練ります→今日は8月9日→自身が作品で何を訴えたいのか今一度初心に戻ってみたい→やっぱりシンプルに?争いのない世の中なんだ!!

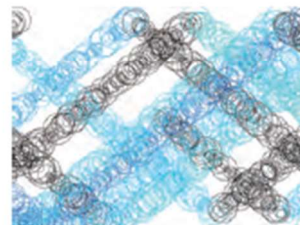
坪井美保 Tsuboi Miho



《裸着 non fitted 2024年

蔵との真剣勝負は今年で6年目となる。震災に耐え、戦禍を生きのびた蔵の数々、先人たちの知恵、和の心。今回の蔵にはどんな風が吹くだろう。回を重ねるごとに蔵に対する畏敬の念が増していく。

カトシュ katosh



《どどまろ、動く》

ただただ展示会場を歩いたり、止まったりしながら眺めてもらう作品です。

武井隼人 Takel Hayato



《彫刻 suo side 2024年

再び参加できること光栄に思います。27年間この街で育ったことを作品で表現できたら良いと思います。

中西 晴世 Nakanishi Haruyo



《たねの旅 1-25 Journey of seeds 2025年

飛んで旅をする樹木の種をモチーフに、遠い地で紛争や饑饉、差別などに苦しむ人々に向けて、幸福と平和を願い旅する種に願いを託します。踏み込むことのできない土地に種が根差し、幸せの芽を出すことができますように

佐々木 薫 Sasaki Kaoru



《赤い花 Red Flower 2024年

絵の具達のおしゃべりが面白い。言葉はドラマを紡ぎ出し、いつしかキャンパスの中でオペラ劇が繰り広げられる。さて、今回の演目は何かしら。

オノ・ヨシヒロ Ono Yoshihiro



《ゆらぎ うつろ Fluctuations 2025年

生命と化した色彩のモチベーション。

福家ゆみ子 Fuke Yumiko



《往古来今 2022年

作品を介して現世と幽世が混ざり合う世界の具現化を試みます。表現とはこの世界を再認識する行為のように思います。それは「折る」という行為に近いかもしれません。

岩下納央子 Iwashita Naoko



《しろいひつじ White Sheep 2025年

複数の絵と語りからなる紙芝居 そのお話の中にはいり、登場する羊をつくる。それぞれの羊がうみだされる。October 26th



**① 旧鎌田商店**

オノ・ヨシヒロ Ono Yoshihiro  
 カトシュ katoeh  
 福家ゆみ子 Fuke Yumiko



**② 関次商店 パンの蔵・風土**

武井 隼人 Takei Hayato  
 (パンの蔵のみ日月火を除く営業時間内)



**③ 旧稲元屋呉服店**

ASADA  
 佐々木 薫 Sasaki Kaoru  
 坪井 美保 Tsuboi Miho



**④ 旧桔梗屋**

伊東 直昭 Itoh Naosaki  
 中西 晴世 Nakanishi Haruyo



**⑤ ふじさわ宿交流館**

岩下 納央子 Iwashita Naoko  
 創作紙芝居とワークショップ 参加費 500円  
 10月26日(日) 午前の部10:30~ / 午後の部13:30~  
 紙芝居約20min + ワークショップ約60min  
 活動資料展示(会期中 月曜日を除く 9:00~17:00)

**展示会場** (Yellow house icon)

**歴史的建造物** (Blue square icon)

**寺社仏閣・旧跡** (Brown square icon)

**店舗・施設** (Black circle icon)

南仲通り

北口

藤沢駅

JR東海道線